

札幌医学技術福祉専門学校

佐藤 忠*

I. 学校・学園の概要

本校は臨床検査技師養成校の札幌医学技術専門学校として、札幌市西区福井に昭和57年4月開校しました。平成4年4月から介護福祉士科を加え、校舎を札幌市西区西野へ移転、札幌医学技術福祉専門学校へと改称しました。平成10年4月から社会福祉科を加えました。平成21年の3月校舎を札幌市中央区へ移転、同年4月より理学療法士科を加えた4学科の学校として現在に至っています。校舎の3階に定員360名の講堂が設置され、関連団体の講演会などにも利用されています。さらに、平成23年度より臨床検査技師科の募集定員を倍の80名へと増員いたします。今年度冬季休業中に教室の改築を行い、来年度前期中には



本校全景(右は姉妹校)

校舎裏に体育館を建設する予定です。

本学園は、設立母体である西野桜幼稚園と西野第二桜幼稚園を持ち将来を担う子供達の初期教育を行っています。また、本校に併設している姉妹校の札幌医療科学専門学校(言語聴覚士科、臨床工学技士科、歯科衛生士科)、同市内にある札幌心療福祉専門学校(精神保健福祉科)、札幌リハビリテーション専門学校(理学療法士科、作業療法士科)、函館市にある函館臨床福祉専門学校(介護福祉士科、社会福祉科)の道内5校を持ち医療と福祉に関する人材を輩出しています。

II. 本校の取り組み

入学後スムーズに学校生活を始められるよう、学習の心構えや目標を持たせるための入学ガイダンスを実施しています。さらに、入学式翌日から実施される1泊2日の合宿セミナー&オリエンテ



本校講堂にて校長挨拶、午後から合宿セミナーへ

* mt-ts@nishino-g.ac.jp

ーションで、学習に必要な基礎知識、学校生活の心構えを身につけると同時に、学生同士の交流を深めるレクリエーションも実施して、モチベーションを高めるよう支援しています。

専門学校としては西野学園独自の教育システムとして、「わかる授業」への取り組みを行っています。わかりやすく、質の高い授業を実現するために、すべての科目にシラバスを作成し、授業の到達目標や学習項目、評価方法といった科目の全体概要を明確にしています。また、シラバスを授業1時間ごとに細分化し、その日の授業テーマや重要用語10語、教員からのアドバイスなどを1枚のシートにまとめた「コマシラバス」を配付し、授業の目標や学習内容がひと目でわかるようにしています。さらに、コマシラバスと連動し、「重要用語」を復習する小テストを、毎回授業の終わりに行っています。各科目の最終回には、授業内容の改善を目的としたアンケートを実施して集計結果を基に指導内容を見直し、授業に反映させています。本学園すべての専任教員が、学校・学科を問わず互いの授業を見学し、評価を行う「公開授業」と「授業検討会」を行っています。教員同士が授業内容や指導方法などをチェックすることで、わかりやすい授業への意識を高め、改善を図っています。

III. カリキュラム等

現行カリキュラムの総時間は3,375時間であり、模擬試験等の国家試験対策などカリキュラム外の時間を考えれば、かなり過密な状況で展開している状況です。1年次は基礎分野、基礎専門分野が中心で、理系科目については高校の復習的な内容から始め、目的意識が低下しないように実習(形態組織学、情報科学、分析機器、臨床微生物学)を取り入れながら展開しています。2年次は専門

科目中心で学内実習のほとんどを実施しています。1週間の中で同一科目の実習を11~12コマ(1コマ90分)実施し、翌週の朝にレポート提出&確認試験を実施しています。確認試験の成績不良者には放課後に補習、夏・冬季休業中に再試験を行っています。3年次は遺伝子・染色体実習、臨地実習(5月~8月の中の14週間)、知識のまとめを目的とした科目を実施しています。

来年度は募集定員増に合わせて、ゆとりあるカリキュラムにすべく変更申請書を先ほど北海道厚生局へ提出したところです。平成18年度から取り入れた健康食品管理士認定試験に向けた授業を削除し、勉強に対する意識付け行事の実施、学力不足の学生への対応強化を図る予定です。

IV. 教員体制

現在、専任教員は6名で、全員が臨床検査技師です。平成23年度から1名ずつ追加し、最終9名になる予定です。本学の非常勤講師は近隣の大学教授、医師、獣医師、臨床検査技師、看護師、診療放射線技師など約40名に協力をお願いしています。

V. 同窓会活動

本学科の同窓会は、活発に症例検討会、実技講習会を実施し同窓生のスキルアップを図っています。3年に1度の総会と同時開催の症例検討会「サマーカンファレンス」ではグループセッションを交えて活発なディスカッションが行われます。毎年開催の実技講習会、今年度については超音波講習(腹部、乳腺)、尿沈渣講習(鑑別ポイント&病態)、細胞診講習(検体処理から鏡検まで)が行われました。毎回、先輩後輩との結びつきを強固にするため懇親会が行われています。